



コーヒーを飲みながら聞く科学の話は楽しい サイエンスカフェへようこそ!

サイエンスカフェ

広島大学 大学院理学研究科

第27回企画

ホヤの不思議

～金属を食べてセルロースの衣をまとう生存戦略～

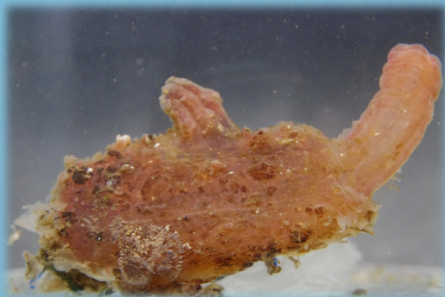
「ホヤ」って、何者？

ホヤは海に住む生き物です。

岩にくっついて動かないので植物のように見えますが、心臓や神経も持っている「動物」です。



ホヤ類は動物なのにセルロース（「紙」と同じ成分）を作り、その衣をまとい、みずから「糊」をつくって、岩などにしっかりとくっついていきます。



さらに、ホヤの中には、海水中に溶けている「金属」を食べて、体の中にためこんでいるものがいます。

ホヤは食用にもなります。美味しいです。

今回は、謎の生物「ホヤ」の不思議のお話です。

話し手：植木 龍也 准教授（広島大学大学院理学研究科）

聞き手：寺本 紫織 & 参加者の皆さん

【日時】 平成26年12月7日（日） 14:30～16:30（受付開始 14:00）

【場所】 しまなみ交流館（テアトロシェルネ）大会議室
（広島県尾道市東御所町10-1）

JR尾道駅の南口を出てすぐの貝殻のかたちをした白い建物です。

【参加費】 500円（中学生以下は無料）コーヒーかジュース、お菓子付き

【対象】 中学生以上推奨

【申込】 定員50名程度。参加ご希望の方はメールにてお申し込みください。

（予約申込期限12月4日（木）。申込の際にお名前とお電話など、ご連絡先の記載をお願いします。）

【問合せ】 理学研究科支援室 担当：筒本（つつもと）

（メール: scicafe@hiroshima-u.ac.jp 電話: 082-424-4467 月曜～金曜 9:00～17:00）

【サイエンスカフェホームページ】 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/sciyugo/scicafe/>





サイエンス カフェ

広島大学 理学研究科

コーヒーや紅茶を飲みながら、アットホームな雰囲気
で楽しく「科学」について語り合いませんか？

授業や講演会などとは違う「科学を題材にコミュニケーションする
空間」を演出したいと、広島大学理学研究科の有志が集まり、
「サイエンスカフェ」活動を始めました。参加資格はたった一つ。

“身近な科学に触れてみたいと思うこと！”

これだけです。好奇心旺盛な皆様のご参加をお待ちしています。

どんな感じのイベントなの…？

話し手の先生も聴衆の皆さんも、お互いにコーヒー
を飲んだりお菓子をつまんだりしながら、くつろいだ
雰囲気です。

進行役の“ファシリテーター(聞き手)”が、ときには小
道具などを使って、話の内容をより分かりやすく皆
さんに伝える手助けをしてくれます。



「理が苦」から「理楽」へ

科学はとってもドキドキ・ワクワクするもの。だから、話の途中で質
問するのも大歓迎。でも、質問をしたくても手が挙げづらいことも
ありますよね？そんな心配は、サイエンスカフェならば無用です！
質問カードに聞きたいことを書き込めば、聞き手の方が皆さんの代
わりに話し手に質問してくれます。

これまで理科や科学が苦手だった人も、一緒に楽しみませんか？

さて、今回のサイエンスカフェは…

ホヤは海にすむ動物です。

ホヤの中には、海水中に溶けている「金属」を食べて、体の中にためこんでいるものがあります。私
たちの一つの研究は、このホヤによる金属濃縮のメカニズムを明らかにすることを目指しています。

ホヤ類は動物なのにセルロース(「紙」と同じ成分)を作り、その衣をまとい、みずから「糊」をつくって、
岩などにしっかりとくっついていきます。私たちのもう一つの研究は、ホヤがどのようにして「紙」と「糊」を
つくってくっつくかを調べています。

この研究は生物のまねをして人の生活を豊かにする応用研究にもつながります。日本におけるその
ような研究「生物模倣」についても紹介します。